



2023年4月13日
京都鉄道博物館

企画展

「駅にまつわるテクノロジー展」



大阪駅に2つの設備「デジタル可変案内サイン」と世界初の「フルスクリーンホームドア」が導入された今年、「ICOCA20周年」「キヨスクの前身から90周年」にあたる年でもあります。本企画展では、これらを記念し、駅を中心とした鉄道技術の革新について昭和・平成・令和の世相とともにご紹介します。

開催期間 2023年5月20日(土)～2023年7月2日(日)
開催場所 本館2F 企画展示室

展示内容は次項より!



1. 改札のテクノロジー～昭和～

高度経済成長期以降の昭和期には、鉄道においても技術革新が進みました。本コーナーでは、昭和期に登場した自動改札機について、当時の資料や写真、ポスターで紹介します。

【展示予定資料】

初期の自動改札機(阪急千里線) (写真)

「地下鉄自動券売機及び自動改札機の使い方(京都市交通局)」 (ポスター) 等



▲初期の自動改札機(阪急千里線)
(写真)

2. 切符のテクノロジー～平成～

昭和末期から平成期には乗車券にも技術革新が訪れます。磁気式プリペイドカード、直接改札機に通すことのできる磁気カード、非接触の IC カードが登場しました。本コーナーでは「ICOCA」を中心とした乗車券や券売機について紹介します。

【展示予定資料】「オレンジカード」(リーフレット)、券売機 等



▲「オレンジカード」
(リーフレット)

3. 新時代のテクノロジー～令和～

インターネットの普及に伴い、乗車券や座席指定券などを予約・申込・決済できるサービスが広まり、利便性が向上しました。また、2023(令和5)年、大阪駅に新技术を用いたホームドアが新設されました。本コーナーでは利用者のニーズに沿って発展したサービスや駅機能に焦点を当てて紹介します。

【展示予定資料】「はるか」模型、大阪駅(うめきたエリア)関連資料 等



▲「はるか」模型

4. 駅の売店

駅利用者にとって欠かせないサービスの1つである売店。1932(昭和7)年、鉄道弘済会売店(キヨスクの前身)が上野駅と東京駅に登場し、以降、全国の主要駅を中心に拡大していきました。本コーナーでは、そのあゆみを当時の世相がうかがえる写真や実物資料で紹介합니다。

【展示予定資料】キヨスク看板



▲キヨスク看板

図録も販売予定！詳細は決まり次第、おしらせします。

